



英語を教え、日本文化を学ぶ…

# ハドソンさんとジョーダンさん

今回は、福島町のALT（外国語指導助手）であるハドソン・デビッド・マイケルさん（上写真左）と、ボゾン・ジョーダン・スティブンさん（上写真右）取材させていただきました。ハドソンさんは保育所・幼稚園や小学校で、ジョーダンさんは中学校と高校で、日々楽しく子どもたちへ英語を教えています。

問1. 福島町に来たのはいつですか？

◆ハドソンさん

今年の8月に来ました。

アメリカのノースカロライナ大学で言語学を学んだ後、兵庫県の関西学院大学で、4ヶ月日本語を勉強していました。

◆ジョーダンさん

平成28年8月に来ました。今年で3年目になります。

アメリカのネバダ大学で、国際ビジネスと国際政治を4年間勉強している間、函館市へ留学した経験があります。



▲英語を教えるジョーダンさんと中学生のみなさん

問2. ALTになろうと思ったきっかけは何ですか？

◆ハドソンさん

私はアメリカと日本の大学に通っていたため、それぞれの国の知識や文化を学んできました。その経験を活かし、大学で勉強したことを日本の子どもたちに教えたいと思ったのがきっかけです。

子どもたちと楽しく遊びながら、お互いの文化を学び合いたいと考えています。

◆ジョーダンさん

ネバダ大学在学中にしていた家庭教師のアルバイトを通して、人に何かを教えることが好きになりました。

また、日本語クラブに入っており、日本人とアメリカ人が協力して、日本語の劇や踊り、川柳や楽器の演奏発表をイベントで披露していました。以前から日本文化に興味はありましたが、クラブ活動を通して熱が入り、「もっと日本文化を学びたい!」、「日本の子どもたちに世界の異文化を教えたい!」と考ええるようになりました。